

2021/9/20（月） 冷山の黒曜石露頭岩～冷山～茶臼山（八ヶ岳）

メンバー：L 辻、福田、非会員 2 名

Mさんが独自で探してたどり着いたという冷山の黒曜石の露頭岩。2 回行ったことがあるので案内してくれるという。登山道がほぼ無いファインディングルート。かなりの不安感あり。

麦草峠の冬季閉鎖ゲートの少し下からだと言う。八ヶ岳自然学校向かいの広い路肩に路駐。ここから左手にある冷山に向かって赤いテープが付いている木を探しながら 200m程下る。「あった！」林の中に確かに赤いテープが見える。苔むした林の中に分け入り、ひたすら赤いテープを目指し進む。踏み後らしきものがかすかにあるもののほぼ苔の上を歩く。等高線を横に移動しているのみでほぼ横移動。ふわふわの苔の絨毯を踏みつけてちょっと罪悪感に苛まれながらも前進。最後に急登が待っていた。急登の先に「ほら、あれだよ」と言われ見上げた先に大きな苔むした巨岩が 2 つ。「???…」言われなければただの岩と見過ごしてしまう所。

近づいて見ると確かに黒曜石のようだ。かなり砂利のような細かい石が混ざっているが。Mさんが「去年来たときはこんなに苔むしてなかった」と言った。もっとピカピカだったらしい。1 年で激変か？足元にはキラキラ光る黒曜石の破片があちらこちらに。下諏訪の星の塔の黒曜石と比べると質が落ちるので縄文人も使わなかったのかな？

GPSを確認すると冷山の山頂は未だ 300m近く上にある。ここから先はGPS頼り。赤テープは無くなりひたすら苔むした林の中、たまに踏み抜きながら山頂を目指して直登、悪戦苦闘 1 時間あまり。冷山山頂は林の中。手作り感満載の小さな道標が木に括りつけられていた。

予定より 2 時間余りの遅れ、縞枯山は断念。茶臼山のみを目指し周遊することに。狭霧園地から出会いの辻、大石峠を經由。登山者があまりおらず、静かな山行となった。

到着した茶臼山は登山者で賑わっており、里の景色を見ながら大休憩とする。風が冷たくなり早々に下山。縞枯茶臼の鞍部から見る縞枯山は以前と比べて縞枯部分が目立たなくなっており、かなり再生が進んでいるように思えた。

五辻方面登山口から車道歩きとなったが、くねくねの車道はショートカットできそうな登山道が無く、舗装路を 1 時間以上歩き、ここが一番くたびれた。

【コースタイム】 天気：曇り時々晴れ 茶臼山山頂は風冷たい

八ヶ岳国際自然学校前路肩 6：30～8：30 黒曜石露頭 8：40～9：40 冷山山頂 9：55～10：45 狭霧園地 11：10～出会いの辻～オトギリ平～大石峠～13：00 茶臼山 大休憩 13：20 出～縞枯茶臼鞍部～五辻～14：30 五辻方面登山口～15：00 日向木場展望台～15：40 八ヶ岳国際自然学校前路肩

今回 2021/9 黒曜石露頭岩



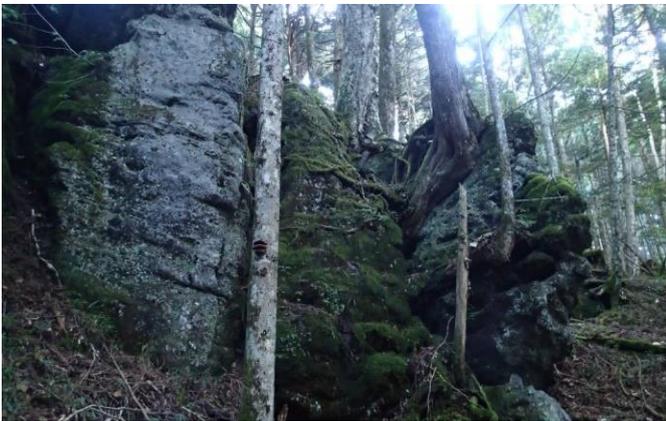
昨年 2020/6 月



今回 2021/9



昨年 2020/6



ピカピカ光ってる

冷山の字が刀？

